

長野県植物誌改訂 文献資料 1：
「北陸の植物」・「植物地理・分類研究」に掲載された
植物相・植生等に関する文献目録

大塚 孝一 *

「長野県植物誌」(1997)が発刊されて20年が経過し、その改訂にむけ2017年11月に「長野県植物誌改訂委員会」が発足し、10年後の改訂版編纂を目指すこととなった。まずは標本データが少ない地域(尾関他2018 長野県植物研究会誌51号)を対象に重点的に標本の蓄積を進めることとしている。

「長野県植物誌」編纂時においては、長野県植物研究会誌に「長野県植物誌資料1~11」(1979~1994)として、「信濃博物学雑誌」、「信濃教育」、「長野林友」、「長野県史蹟名勝天然記念物調査報告」、「植物採集ニュース」、「野草」、「レポート日本の植物」に掲載された長野県関係の記事を収録している。それら以外の文献資料について今後順次取りまとめ、改訂に向けた資料としたい。今回は、北陸の植物の会、植物地理・分類学会発行の「北陸の植物」、「植物地理・分類研究」の報告を紹介する。なお、「植物地理・分類研究」は、植物地理・分類学会が2018年に日本植物分類学会と統合したのち、日本植物分類学会の和文誌として存続した。今回載せるものは植物地理・分類学会の発行分である。

「北陸の植物」

- 奥原弘人(1956) 野麦峠のヒメモチ 5: 29.
豊国秀夫(1957) チチブリンドウ 6: 31-35. (独文)
豊国秀夫・里見信生(1957) チチブリンドウ第2の産地 6: 35.
豊国秀夫(1957) 植物雑記(1) 6: 103-105. (英文)
(キリガミネキンバイ他)
奥原弘人(1958) キソキイチゴについて 7: 126.
倉田 悟・中村武久(1960) シロウマイタチシダ(新羊歯) 9: 54-55.
奥原弘人(1962) 野麦峠のオオツルツゲ 11: 88.
久保田秀夫・守屋忠夫(1963) 青木川(赤石山脈)上流石灰岩地域の植生(1) 12: 28.
清水建美・青木利治(1964) 十文字峠付近の植生

—石灰岩とチャート上の植生比較(1) 12: 90-93.

清水建美・青木利治(1964) 十文字峠付近の植生—石灰岩とチャート上の植生比較(2) 13: 11-14.

奥原弘人(1965) 木曽谷にヒメモチを見る 13: 126.

吉川純幹・長谷川康夫(1966) 長野県黒姫山の北および北西山麓氷沢地域と隣接地の植物 14: 96-102. (p 102 末尾に「杉本順一: 長野県植物総目録」の紹介あり)

奥原弘人(1966) 木曽谷のシバタカエデ 15: 21.

奥原弘人(1967) マルバノキの新産地 15: 102-103.

奥原弘人(1968) 菅平のクロビイタヤ 16: 26-27.

久保田秀夫・守屋忠之(1969) カスミザクラの一新変種 17: 40-42. (カシオザクラ)

奥原弘人(1969) マルバノキの分布について 17: 116-119.

伊藤静夫(1972) 野々海周辺(長野県)のブナ林の植生研究 20: 94-101.

清水建美(1976) MENTZELの「日本植物誌」について 23: 75-77.

大塚孝一(1976) 日本産シダ植物雑録(1) 23: 93-96.

大塚孝一(1977) 日本産シダ植物雑録(2) 24: 78-81.

浅野一男(1978) 木曽山脈のツガ・コメツガ混合林 25: 126-138.

「植物地理・分類研究」

植松春雄(1987) ハケ岳地域における低海拔地産ヒメバラモミについて 35: 189-191.

米澤信道(1988) 本州中部産ツルリンドウ属の新種 36: 9-12. (テンゲノコヅチ)

沖津 進・里見 至(1989) 本州中部山岳の森林限界付近に分布するダケカンバ樹高と胸高直径の関係 37: 149-153.

* 大塚 孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

- 里見信生 (1992) 豊国秀夫博士を悼む 40: 78.
- 清水建美 (1992) 豊国さんを悼む 40: 78.
- 清水建美 (1992) エダウチヘラオオバコ 40: 112.
- 清水建美・木下栄一郎 (1993) ハナノキの地理的
変異 41: 76.
- 清水建美・今井建樹 (1994) 長野県で発見された
ニシキナギナタコウジュ 42: 39-41.
- 瀬沼賢一 (1997) 戸隠・飯綱高原の低層湿原植生
45: 93-102.
- 島野光司 (1998) 何が太平洋型ブナ林におけるブ
ナの更新をさまたげるのか? 46: 1-21.
- 清水建美 (1998) 長野県植物誌 (1997 年 12 月)
に発表された新学名 46: 113-116.
- 藤原陸夫・松田義徳・阿部裕紀子・大塚孝一 (1998)
長野県産カナワラビ属の一新雑種 46: 155-
159.
- 島野光司 (1999) 日本海型ブナ林における雪の働
き (学会招待講演要旨) 47: 97-106.
- 大塚孝一・藤原陸夫 (1999) 長野県オオシケシダ
属 (イワデンダ科) の一新雑種 47: 107-110.
- 星 直斗 (2000) 清里・野辺山高原におけるヤエガ
ワカンバ林の植物社会学的研究 48: 35-45.
- 清水建美 (2001) ナガバイワカガミ 49: 63.
- 西沢 徹・木下栄一郎・矢倉公隆・清水建美 (2001)
本州中部地方の 3 山岳に生育するアキノキリ
ンソウの頭花形態の変異 49: 117-127. (英文)
- 日原誠介・岩坪美兼・鳴橋直弘 (2001) キバナア
キギリとシナノアキギリの一新雑種サクキバナア
キギリ 49: 163-170.
- 清水建美 (2001) 奥原弘人先生を悼む 49: 193.
- 松田行雄 (2002) ミズゴケ類の分布と湿原植生 (学
会賞受賞記念講演論文) 50: 1-13.
- 清水建美 (2002) 長野県植物誌資料集 CD-ROM (テ
スト版) について 50: 80.
- 松田行雄 (2002) 各都道府県別の植物自然史研究
の現状 - 長野県 50: 191-194.
- 高橋耕一 (2003) 中央アルプス将基頭山の森林限
界におけるダケカンバとハイマツの気孔コンダ
クタンスの日変化 51: 159-164.
- 菅原 敬 (2003) 井上 健さんを悼む 51: 196-198.
- 大塚孝一 (2004) ザゼンソウの斑入り品 52: 85-
86.
- 今井建樹・清水建美 (2004) 新品種ヤエザキニッ
コウキバナシャクナゲ 52: 87.
- 増沢武弘 (2005) 高山帯における山岳地形と高山
植物の分布 - 富士山・白馬岳・八ヶ岳・アポイ
岳 - 53: 131-137.
- 井田秀行 (2005) なぜ豪雪地ではブナが純林とな
るのか? - 葉群フェノロジーの観点からの一考
察 - (要旨) 53: 139-143.
- 岩坪美兼・大塚孝一 (2005) 日本産ザゼンソウ属
の染色体数 53: 203-205.
- 大塚孝一・尾関雅章・八木 隆・千葉悟志 (2007)
アズミノヘラオモダカの長野県木曾町における
新産地と既知産地の現状 55: 107-109.
- 浅野一男 (2008) ベニバナイチゴ *Rubus vernus* (バ
ラ科) の長野県における新産地 56: 32.
- 後藤稔治・川村智子・酒井英二・田中俊弘 (2012)
乗鞍岳におけるナナカマド類の垂直分布と生育
地の植生 60: 21-27.
- 大塚孝一 (2013) 各都道府県別の植物自然史研究
の現状 追補 - 長野県 60: 21.
- 中村千賀・中村匡男 (2014) 長野県におけるニン
ニクガラシ *Alliaria petiolata* (アブラナ科) の
帰化 . 62: 23-27.
- 後藤稔治・川村智子・酒井英二・田中俊弘 (2017)
乗鞍岳におけるウラジロナナカマドとナナカマ
ドの標高差による開花・結実の相違 65: 95-98.
- 上野勝典・上野由貴枝・大塚孝一・芹沢俊介 (2017)
外来シダ植物と在来オシダ属 (オシダ科) と
の推定新雑種カツモウシラネワラビ . 65: 103-
106.